

日本学術会議

若手アカデミー 未来を拓く学術イノベーション分科会

(第26期・第3回)

議事要旨

日 時 令和6年12月24日(火) 10:00~12:00
会 場 ウェブ開催 (Zoom)

出席者 武田 秀太郎、藤岡 沙都子、小野 悠、南澤 孝太、木村 草太、松本
大亮

欠席者 廣野 陽子、樽野 陽幸

議 事

(1) 意思の表出の方針に関する議論

今期において、若手アカデミーとして、学術とスタートアップを両輪として推進するあり方に関する意思を「見解」として表出することで合意した。時期としては、令和7年9月末までの発出を目指す方針となった。このため、令和7年1月末までに申出書を提出する方針が確認された。

(2) 意思の表出の内容に関する議論

従来、スタートアップ起業による研究キャリアの中断や、携わる研究者の環境の変化による学術成果の生産性低下など、実際に起業を選択した科学者への影響については十分な注目が為されてこなかったことから、学術とスタートアップを両輪として推進するあり方に関する意思を表出することで合意した。

(3) その他

今後の計画について、意見交換を行った。